



Title	編集後記
Author(s)	逸見, 勝亮
Citation	北海道大学大学文書館年報, 5, [212]-[212]
Issue Date	2010-03-19
Doc URL	<a href="https://hdl.handle.net/2115/43762">https://hdl.handle.net/2115/43762</a>
Type	other
File Information	5_211.pdf



〔編集後記〕

◇『北大時報』(2009年4月号～2010年3月号)には、大学文書館関係記事が23件掲載されている。第665号(2009年8月)の表紙を飾ったのは、「高尾彰一郵便資料コレクション」である。

◇『札幌農学校生の学生生活(1)―札幌農学校で世界と出会うとき』と題して、札幌農学校の1～18期生(1876～1900年)の学生生活をテーマに、図書館エントランスで、ノート、教科書、英文手紙、写真などを展示した。附属図書館北方資料室と共催である。

◇大学文書館職員井上高聡は、学生委員会広報誌『えるむ』に「北海道大学 歴史ノート」を連載中である。「北大の歴史は東京から始まった―開拓使仮学校」(130号、2009年2月)、「大学祭のはじまり―新たな出発の志」(131号、2009年4月)、「キャンパスが畑になった時代」(132号、2009年8月)、「トロピカルを日本の食卓に」(133号、2009年12月)と好調である。それぞれ、北大の起源と高等教育制度、戦後に大学祭が開催に至る経緯、大学の空き地は全て畑と化した非日常的戦時下の光景、熱帯・亜熱帯の果実の流通を説く学術調査結果を、巧みに描出している。

◇大学文書館職員山本美穂子は、広報誌『リテラポプリ』巻頭を飾る「ポプラの手紙」を連載中である。「『最高の教育は男子に限るものにあらず、女性にも同様の機会を』北大初代総長 佐藤昌介―(その3)」(第35号、2009年1月)、「『文運の曙光は少々青年の頭脳に映じ―佐藤昌介、英学を志す』北大初代総長 佐藤昌介―(その4)」(第37号、2009年7月)、「『平和論を懐けるものは大声叱呼して民心に訴えるべし―札幌農学校生の非戦論』札幌農学校第二十三期生川嶋一郎」(第38号、2009年11月)と、こちらは佐藤昌介の「大志」と、川嶋一郎のこれも「大志」を、それぞれの言説を踏まえて活写した。北海道大学史の重要な断面を別った刮目すべき文章である。

◇「業務記録・業務日誌・利用状況」をご覧じろ。史料調査と整理、新たな史料寄贈受入、史料展示、電話・メールによる問い合わせ、閲覧者への対応、北海道大学史研究会、全国大学史資料協議会など各種セミナーへの参加等、昨年度までと同様に北海道大学大学文書館の今年度の活動は精力的であった。2009年1～12月の問い合わせは延べ218件、閲覧者は延べ132人であった。史料寄贈者と大学文書館職員の濃密な関係が持続的に発展している。寄贈者と史料展見学者との結びつきを紡いでいる。

北大の歴史を介して、多くのひとびとが出会う小さな文書館！

(逸見勝亮)

---

## 北海道大学大学文書館年報 第5号

---

2010年3月19日発行

編集・発行 北海道大学大学文書館

〒060-0808 札幌市北区北8条西5丁目

電話 011-706-2395 (FAX 兼)

印刷 岩橋印刷株式会社